

平成 30 年度第 9 回人間文化研究機構役員会議事概要

- 日 時 平成 30 年 7 月 9 日（月）14：00～14：35
- 場 所 機構長室
- 出席者 機構長、窪田理事、岸上理事、佐藤理事、李理事
- 陪席者 大崎特別顧問、二ノ宮監事
- 事務担当者 事務局長、総務課長、企画課長、財務課長、施設課長、監査室長

- 平成 30 年度第 8 回議事概要（案）の了承
一部修正の上、了承された。

○ 議 事

【審議事項】

- （1）総合地球環境学研究所におけるクロスアポイントメントの実施について

総務課長から、総合地球環境学研究所と名古屋大学とのクロスアポイントメントの実施について説明があり、原案のとおり了承された。

- （2）平成 31 年度概算要求について

窪田理事から、平成 31 年度概算要求事項について説明があり、原案のとおり了承された。また、各事業毎の要求額等については、機構長一任とされた。

- （3）前中期目標期間繰越積立金の取崩について

窪田理事から、前中期目標期間繰越積立金の一部を、国立歴史民俗博物館総合展示第 1 展示室（原始・古代）の新構築事業に充当し取り崩すことについて説明があり、原案のとおり了承された。

【報告事項】

- （1）その他

- ・ 窪田理事から、平成 31 年度概算要求に関し、高エネルギー加速器研究機構が国立歴史民俗博物館と共同実施を計画している連携研究プロジェクトに係る打合せが両組織間で行われた旨、報告があった。
- ・ 窪田理事から、基幹研究プロジェクトの評価方法及びスケジュールに対する各機関からの意見を踏まえ、理事協議会で見直しを検討したい旨、報告があった。
- ・ 事務局長から、文部科学省から「評価指標の実質化等に関する調書」作成の際の指示があり、事業毎の評価指標（KPI）を 4 つに絞ること、また 4 機構共通の指標については後日提示があること等について、報告があった。
- ・ 事務局長及び施設課長から、地震で被害のあった国立民族学博物館に関し、図書室の復旧支援の状況並びに建物等の復旧スケジュール等について報告があった。

以 上